

行政視察報告書

経済建設常任委員会委員長 山田 徹

1 日にち	令和4年10月25日（火） 13時30分～15時30分
2 視察先	長野県諏訪市
3 参加者	委員長：山田徹 副委員長：渡部昇 委員：佐藤信行、古庄修一、柴田雅也、林美行 経済部長：長江信行 議会事務局：阪野広紀
4 調査内容	諏訪市観光グランドデザインによるまちづくりについて
5 所感、主な質疑の内容、提言事項、課題等	本年3月、諏訪市は、観光による地域活性化を目指すために総合的・長期的視点でまちの将来像を示す「諏訪市観光グランドデザイン」を作成し、観光グランドデザインをもとに、行政や観光事業者だけではなく、市民や民間事業者と共に「SUWAらしいがあふれる観光地」の実現を目指している。 こうした特色のある取り組みが、本市における観光施策に資すると考え、今回視察をさせていただいた。 【主な質疑内容】 □どのような考えから観光グランドデザインが始まったのか？ →諏訪市の観光資源を再度、洗い出すことで新たな観光の可能性の見える化を意図している。 □民間事業者とのつながりはどの様になっているのか？ →市からのトップダウンにならないようにイベントを多く開催し、民間事業者だけにとどまらず、前向きな市民の参加も行った。 □観光グランドデザインを始めてから経済効果はいか程か、また、まちはどの様になったのか？ →観光グランドデザインは、まだ始まったばかりであり、現時点でその効果の程を推しはかることは難しいが、住民の参加も多く住民の意識は高まっていると思われる。 【所感】 諏訪市では、「諏訪市観光グランドデザイン～SUWAらしいがあふれる観光地」として観光施策を行っている。諏訪市観光グランドデザインは、まだ、始まったばかりであり経済効果などは不明ではあるが、民間事業者だけではなく多くの市民も参画し、官民連携、広域連携を図るため「諏訪市観光グランドデザインキックオフイベント」などの取り組みもされていた。会議に際しては、グラフィックレコーディングを取り入れ、見ただけで直感的

にわかる議事録が作成され、非常に好評を得ているとのことであった。また、会議においては方向性の統一を図るため参加者でゴールを決める取り組みも行われ、「10年後の諏訪市を創造しましょう」をゴールと定めた。

もともと諏訪市では、官民連携によるプロジェクトが行われており、それを取りまとめ市全体で大きなムーブメントにしたものが、今回の観光グランドデザインである。多治見市においても行政が部署をまたいで統一されたゴールを持ち、複数のプロジェクトが合わさることで大きなムーブメントを創ることは可能であると感じた。



【諏訪市役所会議室にて】



【議場にて】

※グラフィックレコーディングとは…ミーティングや講義の内容を文字とイラストを使って記録する方法。参加者がリアルタイムで記録を共有できる。

※視察先 1 件に 1 枚作成すること。